

令和3年度 北信越高等学校体育大会
第62回 北信越高等学校柔道大会
実施要項

主催 北信越高等学校体育連盟 新潟県高等学校体育連盟
共催 新潟県教育委員会・(公財)新潟県スポーツ協会・新潟市教育委員会・新潟県柔道連盟
後援 北信越柔道連盟 豊栄柔道連盟
主管 新潟県高等学校体育連盟・新潟県高等学校体育連盟柔道専門部

1 期 日 令和3年6月19日(土)～20日(日)

(1) 競技 令和3年6月19日(土)・20日(日) 9:00～(2日間)

今大会は、開会式・閉会式・表彰式は行いません。

2 会場 新潟市豊栄総合体育館

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山488-3 Tel 025-386-7511

3 大会日程

令和3年6月18日(金)	各種受付	12:30～13:20
	計量	12:40～13:30
	専門委員長会議	14:00～14:30
	監督会議	15:00～15:45
令和3年6月19日(土)	男女団体試合(決勝まで)	9:00～
	男女個人試合(2回戦まで)	
令和3年6月20日(日)	男女個人試合(決勝まで)	9:00～

4 競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規定(IJFルール(2018-2020))ならびに全国高体連柔道大会競技運営申し合わせ事項及び北信越高体連団体試合方法申し合わせ事項によって行う。

(2) 「優勢勝ち」の判定基準

① 団体試合の勝敗の判定基準は「技あり」・「僅差」以上とする。「僅差」(「指導」差2)以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦の試合方法は「全国高体連団体試合方法申し合わせ事項」及び「北信越高体連団体試合方法申し合わせ事項」によっておこなう。

※代表戦における「全国高体連団体試合方法申し合わせ事項」及び「北信越高体連団体試合方法申し合わせ事項」

ア) 代表戦は、その試合に出場した任意の選手を選び、試合を1回のみを行い、勝敗がつかなかった場合は時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア方式)で勝敗を決する。

イ) 代表戦の勝敗の判定基準は、団体戦における「僅差」で勝敗を決する。但し、代表戦の延長戦(ゴールデンスコア方式)における判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。

② 個人試合は「技あり」又は「僅差」(「指導」差2以上)とする。試合終了時に、得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア方式)を行う。延長戦は「技あり」以上の得点があった時点、又は、「指導」の差が出た時点で試合終了とする。

(3) 試合時間

① 試合時間は、団体試合・個人試合ともにすべて3分とする。

② 個人試合における同一試合者の次試合までの間隔は、最低3分間は確保できるものとする。

③ 上記、試合時間については、新型コロナウイルス感染防止の観点から各県の委員長と協議し変更される場合がある。

(4) 審判方法

① 審判は、主審1人、副審2人の3審制でおこない、各試合場に1人または2人の審判委員(ジュリー)を配置する。

② 〈ケアシステムの使用〉団体試合ならび個人試合の決勝戦においては、審判委員(ジュリー)が試合場での決定とそれを補助するためにケアシステムを使用して確認する。その際に、技・反則における判定の訂正もありえる。

5 競技・試合方法

(1) 団体試合(男子・女子：点取り試合)

① 試合は、トーナメント戦とする。3位決定戦は行わない。

② トーナメント戦の勝敗の決定は、次のとおりとする。

ア 判定基準

* 「選手 対 選手」のそれぞれの試合の勝敗は、「技あり」以上、または「僅差」とする。

* 「僅差」は、「指導差2」とする。

イ 「技の内容」と「指導」の重みは、次のとおりとする。

* 【一本勝ち=反則勝ち】> 「技あり」> 「僅差」の順とする。

ウ 団体試合の「チーム対チーム」の勝敗の決定は、以下の項目にしたがって勝敗を決定する。

(a) 「勝ち数の多いチーム」を勝ちとする。

(b) (a) で同等の場合は、「一本による勝ち」の多いチームを勝ちとする。ただし「一本による勝ち」と「反則による勝ち（指導の累積3による反則負け）または「直接的反則負け）」は同等とする。

(c) (b) で同等の場合は、「技有による勝ち」の多いチームを勝ちとする。

(d) (c) で同等の場合は、代表戦をおこなう。

* 「代表戦」は、4 競技規則(2)の※代表戦における「全国高体連団体試合方法申し合わせ事項」及び「北信越高体連団体試合方法申し合わせ事項」によっておこなう。

(2) 個人試合(男子・女子)

① 体重別試合とする。

② 試合は、トーナメント戦とする。3位決定戦は行わない。

6 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。

(2) 選手は、北信越5県各高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技の大会要項により大会参加資格を得たものに限る。

(3) 年齢は、平成14年（2002年）4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

① 「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任をもって調整・確認する。*ベンチに入ることは「出場」とみなす。

② 大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。

(4) チーム編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。

(5) 複数校合同チームの大会参加は原則として認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り、合同チームによる大会参加を認める。

(6) 転校・転籍後6ヶ月未満（水泳は1年）のものは参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）

但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高体連会長の認可があればこの限りでない。

大会開始前のエントリー変更期限前に6ヶ月が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合は、そのルールに従って変更を認める。

(7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(8) 「脳震盪(のうしんとう)」について選手および指導者は下記事項を遵守すること。

① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること。

③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(9) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(10) 参加資格の特例

- ① 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、全国高校総体開催基準要項の「大会参加資格の別途に定める規定」に従い大会参加を認める。
- ② 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

*大会参加資格の別途に定める規定

- (1) 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- (2) 以下の条件を具備すること。
 - ①大会資格を認める条件
 - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年齢ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混合は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会の出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - ②大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、規則種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある学校の教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

7 参加制限

(1) 団体試合(男子・女子)

- ① 各県は男子4校、女子3校。ただし、開催地(新潟県)は男子8校、女子4校とする。
- ② チームの人員は、次のとおりとする。
 - ア 男子は、監督1名・選手5名・補欠1名の計7名以内とする。
 - イ 女子は、監督1名・選手3名・補欠1名の計5名以内とする。
- ③ 外国人留学生のチームにおける人員は、男子・女子ともに1名とする。
- ④ 不参加チームのあるときは、開催地で補充する。

(2) 男子個人試合

- ① 体重区分は次の通りとする。
〔60kg級(60kg以下の者)・66kg級(60kgを超え66kg以下の者)・73kg級(66kgを超え73kg以下の者)・81kg級(73kgを超え81kg以下の者)・90kg級(81kgを超え90kg以下の者)・100kg級(90kgを超え100kg以下の者)・100kg超級(100kgを超える者)〕
- ② 各県の出場選手は、各階級8名とする。但し、各階級40名とするために不足する人数は、開催県において可能な限り補充する。
- ③ 計量にパスしない者は出場できない。
- ④ 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。
- ⑤ 選手は、団体試合と個人試合を兼ねてもよい。

(3) 女子個人試合

- ① 体重区分は次の通りとする。
〔48kg級(48kg以下の者)・52kg級(48kgを超え52kg以下の者)・57kg級(52kgを超え57kg以下の者)・63kg級(57kgを超え63kg以下の者)・70kg級(63kgを超え70kg以下の者)・78kg級(70kgを超え78kg以下の者)・78kg超級(78kgを超える者)〕
- ② 各県の出場選手は、各階級4名とする。但し、各階級20名とするために不足する人数は、開催県において可能な限り補充する。
- ③ 計量にパスしない者は出場できない。

- ④ 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。
- ⑤ 選手は、団体試合と個人試合を兼ねてもよい。

8 組合せ

- (1) 令和3年6月 8日(火) 9:30～ 開催地(新潟県)の責任において抽選により決定する。
- (2) 団体試合及び個人試合(男子・女子)の組合せでは、各県の団体試合優勝校および個人試合各階級優勝者をシードする。

9 選手変更と補欠選手の投入の順番について

参加申込者に変更が生じた場合は、所定の用紙に記入し、学校長の証明により、選手の補充を当該県の専門委員長より申し出をおこなう。

(1) 〈団体試合〉

- ①参加申込み後の「選手変更」は男子・女子ともに1名を原則とする。但し、伝染病その他天災等による場合は、これを適用しない。
- ②新たに補充される選手は、先に申し込まれた「補欠選手の補充」とする。欠員の場所への投入は、先に登録されている補欠選手が優先する。投入による直接的なチームのオーダー順位の変更は認めない。

(2) 〈個人試合〉組合せ抽選後は、欠場する選手の場所に入る。

- (3) 選手変更の受付時間及び場所 6月18日(金) 12:30～13:20
新潟市豊栄総合体育館 正面入口 (受付)

10 計 量

- (1) 日時・時間 6月18日(金) 12:40～13:30 (何回計量しても構わない)
- (2) 計 量 場 所 新潟市豊栄総合体育館 〈男子〉アリーナ内計量室 〈女子〉中体育室
- (3) 計量時服装 〈男 子〉原則として「上半身裸」、下は「短パン」以下とする。
〈女 子〉原則として「上半身Tシャツ」、下は「短パン」以下とする。

11 参加申込

- (1) 申込方法 所定の申込用紙により各県専門委員長が一括してとりまとめ18日(金)の委員長会議までに開催県委員長に提出する。
また、電子データを別途下記のメールアドレスに送信すること。
- (2) 申込期日 申込書類は、**令和3年 6月18日(金)各県委員長会議までとする。**
ただし、**メールについては令和3年 6月8日(火)9:30までに送信**すること。
- (3) 申込先・メール送信先

(メール送信先) hokusinetu-2021@yahoo.co.jp

新潟県立新津工業高等学校 亀山和輝 あて

(書類送付先: 委員長所属校) 〒959-1325 新潟県加茂市神明町2-15-5

新潟県立加茂農林高等学校 大倉康二 あて

TEL (0256) 52-3115 FAX (0256) 0256-53-2672

12 参加料

- (1) 団体試合 (1チーム) 20,000円
- (2) 個人試合 (1名) 2,000円
- (3) 参加料は、各県専門委員長がまとめ、所定の一覧表に記入の上、専門委員長会議時に納入すること。

13 表 彰

- (1) 団体試合 (男子・女子) 男子上位5位まで、女子3位までのチームに表彰状を授与する。
- (2) 個人試合 (男子・女子) 男子各級上位5位まで、女子3位までの者に表彰状を授与する。
- (3) 前回大会団体優勝校 (男子・女子) にはレプリカを授与する。

14 諸 会 議

(1) チーム受付・選手変更受付・宿泊受付・弁当受付

	6月18日(金)	12:30~13:20	豊栄総合体育館	正面入口
(2) 専門委員長会議	6月18日(金)	14:00~14:30	豊栄総合体育館	第二会議室
(3) 監督会議	6月18日(金)	15:00~15:45	豊栄総合体育館	第1会議室
(4) 審判会議	6月19日(土)	8:15~8:45	豊栄総合体育館	第1会議室
	6月20日(日)	8:30~8:45	豊栄総合体育館	第1会議室

※(3) 監督会議へは団体・個人戦の代表とし男子代表監督1名、女子代表監督1名のみの参加とする。

※(4) 審判会議は18日(金)には行わず、19日(土)の朝に行う。

15 監督・引率

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、各県高体連会長に事前に届けでる。

(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

但し、各県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

(3) 大会・試合における監督・コーチ・引率者の責任と行為・言動について

①監督・引率の責任

監督・引率者は、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を負わなければならない。

②監督・コーチの言動や行為

監督は、試合が止まっている間(「待て」から「始め」)のみ、選手に対して指示を与えることができ

◎次の行為を禁止する。

ア 試合が進行している間に指示を出すことや試合中に立ち上がること。

イ 対戦相手や自身の選手を侮辱する言動や行為。

ウ 審判員の判定に対する意見(抗議)や判定を求めるためのジェスチャーなど。

③罰則規定

ア 1回目は審判員が合議の上、口頭により「警告」を与える。

イ 2回目は審判員が合議をし、大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとに、その試合が終わるまで監督席から退場させる。

さらに続くようであれば、その監督を試合会場から退場させ、試合を没収することもある。

ウ 次の試合(対戦校)からは、監督席に戻ることができるが、その後も改善されない場合は、大会期間中を通して監督席への着席を認めない。

(4) 監督・引率の服装 審判員に準じ、監督会議にも同様の服装で出席すること。

16 柔道衣について

(1) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿)を使用すること。

①「帯」については(IJF 認証ラベルは「青枠」、全柔連認証番号タグの数字(JU0000)が「黒」も使用可。

(2) 背部に下記の要領でゼッケンを各自で縫い付けること

①布地は白色(晒太綾)で、サイズは横30~35cm、縦25~30cm

②苗字を上部2/3、所属を下部1/3にゴシック又は楷書で男子は黒字、女子は朱字で記載する

③縫い付けの場所は、後ろ襟から5~10cm下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける

17 審判員について

(1) 各県9名、開催県12名、計48名で編成する。

(2) 団体出場校の監督を兼ねる場合は各県男子チーム2名、女子チーム1名以内とし、出場チームの審判員はその試合会場に割り当てる。

(3) 服装は、夏服(半袖シャツ)とし、ネクタイは着用しない。エンブレムはご準備下さい。

(4) 審判会議へは審判服で出席する。

18 練習会場 豊栄総合体育館にて、下記の時間帯で使用できる。但し、練習試合は禁止する。

6月18日(金) 12:30～15:30 別表の指定場所による。

19日(土) 8:00～17:00 別表の指定場所、指定時間による。

20日(日) 8:00～ 8:45(場所) 体育館アリーナ試合場

8:00～ 競技終了(場所) 特設練習場(中体育室)

*なお、諸会議等により、使用できない時間帯もある。

19 宿泊・弁当(詳細は、別紙宿泊要項による)

(1) 宿泊・弁当等料金(宿泊費・弁当代金は、学校単位で精算すること。)

① 宿泊料金 1泊2食(基本) 上限8,500円(税別)

② 弁当代金 800円以内/1食(税別)

(2) 担当業者(宿泊等申込先)

新潟交通株式会社くれよん三条 観光庁長官登録旅行業289号

〒955-0093 新潟県三条市下須頃28-1 電話0256-35-1116 FAX0256-31-1122

担当:松沢広幸 営業時間:平日10:00～17:30 (土・日・祝日休業)

20 感染症防止策等について

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況や社会情勢に鑑み、関係機関等と協議の上、大会の中止や変更等の対応を取る場合がある。

(2) 選手・監督・役員等は、検温や健康観察を各県等の感染予防指針に沿って行い、体調を万全に整え参加すること。

(3) 選手・監督・役員等は、所定の「体調チェックシート」を受付時に提出すること。また、大会期間中においても同様に提出すること。(3日間で3枚提出が必要)

(4) 体調チェックシートに感染の疑念がある場合は参加を見合わせる。

(5) 今大会は感染防止の観点により、無観客で行う。

21 連絡事項

(1) 競技中の疾病・傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は「健康保険証」を持参すること。

(2) プログラムの無償配付は、参加選手・監督に1部とする。

(3) 選手は必ず当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手ならびそれに準ずる生徒の全ての行動に対して責任を負うものとする。

(4) その他の必要事項は、専門委員長会議・審判監督会議で決定する。

*全国高体連申し合わせ事項

(1) 直接的な「反則負け」となった試合者に対する処置は基本的にはルールどおりとするが、いわゆるダイビングによる「直接的反則負け」については、その後の一連の試合に出場できない。但し、団体試合と個人試合は一連の試合とは考えない。

(2) 試合中に審判に意見(抗議)を言う監督に対しては、3人の審判で合議し、その監督に言動を慎むよう「警告」を与える。なお続くようならば、その監督を退場させ、試合を没収する。

(2) 柔道衣(上衣・下穿)について…全国高体連主催大会(全国総体・全国高校選手権)において、全日本柔道連盟公認の柔道衣を着用することになります。については、当大会より上位大会に準じて指定します。IJF認証ラベルは「赤枠」または全柔連認証番号タグの数字(JU0000)が「赤」のもの。ただし「帯」については、IJF認証ラベルが「青枠」、全柔連認証番号タグの数字(JU0000)が「黒」も使用可能です。

第62回北信越高等学校柔道大会事務局

(委員長) 〒959-1325 新潟県加茂市神明町2-15-5

新潟県立加茂農林高等学校 大倉康二

TEL (0256) 52-3115 FAX (0256) 0256-53-2672

(大会担当) 〒956-0816 新潟県新潟市秋葉区新津東町1-12-9

新潟県立新津工業高等学校 亀山和輝

TEL (0250) 22-3441 FAX (0250) 22-8114